

地域おこし協力隊が 三原で過ごす日々

新丁ナ!

みはライフ!

市外から移住して来た8人の隊員が、地域課題の解決に向けて活動中!



今月01日担当
坂江隆太
です!

【出身】石川県金沢市 【趣味】釣り、山登り、マインドスポーツ(麻雀、ポーカー)
【活動エリア】市内全地域 【活動テーマ】移住・定住の促進、関係人口の獲得



▲空き物件を利活用するための取り組みとして、神明市で空き家を会場にしたマルシェを開き、多くの人々が来場しました。

地域の困りごとを解決!

前職の商社での売買や仲介、事業投資に携わってきた経験を生かして、市や市内企業と協力して、三原に関わる人を増やしていく活動をしています。例えば、働き手や後継者が見つからず困っているという地域の課題を解決するため、その仕事に関心がある市外の人とのマッチングを企画しています。また、「空き家の増加」という課題に対して、中心市街地活性化に取り組む「まちづくり三原」にも所属しながら、本町地域の人たちと空き家対策を行なっています。令和5年度は、国土交通省の空き家対策事業の認定を受け、空き物件を改修してマルシェ会場として活用するイベントを行いました。

こうした三原ならではの資源を磨き、価値を高めていく地域の商社のような活動をしています。地域の中に困りごとがあれば、ぜひ聞かせてください。

地域おこし協力隊の活動は市公式noteで!



問 地域企画課
0848-67-6011



市民による
まちの
PRチーム

三原市シティプロモーション

(Vol.19) ぐっとみはら編集部

「武士のかがみ」と呼ばれた人物に迫る



▲末近信賀像

小早川隆景も認めた武將について、地元の久井町の人に聞きました。その人物は、隆景の家臣で久井町羽倉地域を治めた末近信賀です。1582(天正10)年に、後に「豊臣」姓に変わる羽柴秀吉が、清水宗治の守る城を攻めた「備中高松城の戦い」で、信賀は宗治の援軍として参戦。しかし、秀吉の水攻めにより、落城寸前まで追い込まれ、宗治は城内五千の命と引き替えに自害を決意。信賀も毛利家への忠義を貫き、共に自ら命を絶って家臣の命を助けました。

命を賭けて武士道を 貫いた武將

信賀の死後、隆景は信賀の嫡男である光久へ書状を送り、信賀の切腹を名譽であると称賛し、彼の忠義を忘れないと伝えています。久井町では、現在も地元の有志が集まり、信賀への敬意を込めて行なっています。羽倉自治区長の梶畑孝明さんは「優しさにあふれた信賀の道徳をしっかりと受け継いでいきたい。」と話してくれました。命を賭けて武士道を貫いた武將の忠義は、今でも久井町で語り継がれています。

隆景も認めた 信賀の忠義



▲羽倉にある信賀の辞世を記した石碑

今回の調査依頼

小早川 隆景も認めた「武士のかがみ」と呼ばれる人物が久井にいたってホント?



中之町在住
60代

ぐっとみはら 編集部とは?

市や市民に関わる人たちが集まり活動するまちの広報チームです。

Instagramをチェック!



三原の魅力を発掘・発信しています。

まちの疑問を募集中!

皆さんからのまちの疑問や調べてほしいことを受け付け中!



応募フォーム▲

市長 × LINE

コミュニケーション
ツールを正しく使おう



三原市公式LINEを開設し、3年がたちました。今では3万人以上の人が登録いただき、市からの情報を随時お届けしています。

市公式LINEでは、災害時の避難情報や家庭ごみの収集日など、市からのお知らせを受け

取れるほか、ハザードマップや子育て情報なども見ることができ、そのほかにも、道路や河川の異常の通報ができるといった便利な機能もありますので、まだ登録されていない人はぜひ登録してください。

LINEは、幅広い世代で利用されており、重要なコミュニケーションツールになっていきます。個人間のやりとりだけでなく、グループでの情報共有などに利用している人も多いのではないのでしょうか。

しかし、文章でコミュニケーションを行う場合には、表現の誤解によるトラブルが起こることがあります。細かいニュアンスが伝わらないこともあるので、自分の文章がどのように受け取られるか、一度考えてから送る

ようにしましょう。

私も日常的にLINEを使っていますが、誤解を招く恐れのある内容は、慎重に文章を作成し、細かなニュアンスを伝えたいときは電話や対面で話すようにしています。

コミュニケーションツールを利用するときは、正しい使い方を知り、ルールを決めて使いましょう。そして、なにより相手の立場に立ち、思いやりを持ってコミュニケーションを行い、温かい人間関係や地域社会をつくっていきましょう。



Kia Ora! MIHARA

ニュージーランド出身の
国際交流員コラム

● Vol.7 ●



CIR (国際交流員)
ジェイク・ロコップさん



フェスティバル・オブ・カルチャーズの
三原市ブースの様子

姉妹都市であるPALMYで三原市をPR

PALMYとは、三原市の姉妹都市パーマストンノース市の愛称です。人口の約20%が海外生まれのPALMYでは、英語以外にマオリ語、ヒンディー語、フランス語、タガログ語などたくさんの言語が使われており、さまざまな文化を持つ人が生活しています。

2月24日に、人々の多様性を祝うイベントとして「Festival of Cultures」が開催されました。このイベントでは、さまざまな国に関するブースが並び、料理や芸術、歌、踊り、ゲームなどを楽しむことができます。姉妹都市になって5年の今年、三原市のブースを出展し、来場者に三原だるまを紹介したり、タコ飯を振る舞ったりして、三原市をPRすることができました。

知ってる?

ニュージーランド

パーマストンノース市について

1930年に正式に市となったパーマストンノース市は、豊かな自然に囲まれており、マオリ語で「Papa-i-Oea」と呼び、「なんと美しい」という意味です。約100カ所の公園と保護区があります。

Information for foreign
nationals in Mihara

◀ CIRが三原の
魅力などを発信中! ▶

Instagram & Facebook

